F-DEX エフデックス

溶融金属防護服



アルミ・鉄・銅など高温の溶融金属が跳ね掛かっても、付着させず流れ落とします。ウール／難燃レーヨンで構成されたF-DEX溶融金属防護服は、高温の溶融金属を扱う職場に特化した特殊防護服です。

メタルスプラッシュ防護生地の世界基準

＜ＦＤ１６０＞：ウール 50%／難燃レーヨンLenzing FR 50%　325g/㎡

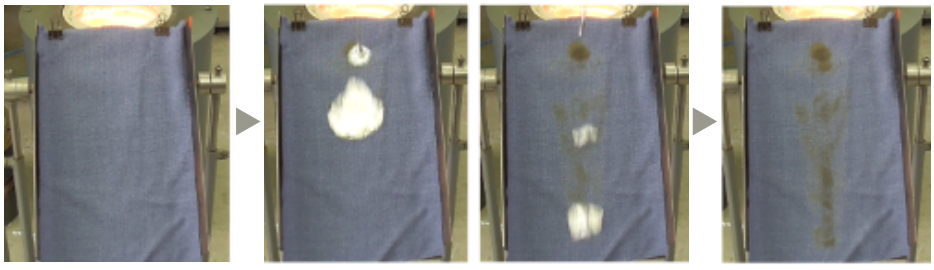
F-DEX溶融金属防護服は、アルミニウム・鉄・銅など幅広い溶融金属に対応します。一方、アラミド繊維を用いた場合、高温の溶融金属が防護服表面に付着し、着用者を火傷させてしまいます。

ISO9185 溶融アルミニウム試験法：200g以上、350g未満　【JIS T 8129 D2適合】
ISO9185 溶融鉄試験法：200g以上　【JIS T 8129 E3適合】

イタリア CENTRO TESSILE にて試験実施

溶融アルミニウム・スプラッシュ試験

斜めに固定した試料に溶融アルミニウム（約800℃）を所定量落とします。溶融アルミニウムは付着することなく流れ落ちます。試料表面は多少焦げていますが、裏面に重ねた疑似皮膚の塩化ビニルシートには損傷を全く与えません。



Before　Splashing　After

NIKKE

F-DEX エフデックス 溶融金属防護服

よくあるご質問 FAQ

Q1 溶融金属防護服とは何ですか？

アルミニウム・鉄・銅などの高温の溶融金属から作業者を保護するための特殊防護服です。溶融金属を付着させず流れ落とす性能を備えています。

Q2 一般的な難燃服との違いは何ですか？

難燃服は火炎対策が主な目的です。溶融金属防護服は、高温の溶融金属による火傷リスクの低減を目的としています。

Q3 アラミド防護服との違いは何ですか？

アラミド繊維は高温の溶融金属が付着する場合があります。
F-DEX溶融金属防護服は、ウールと難燃レーヨンを組み合わせることで溶融金属を流れ落としやすくしています。

Q4 性能試験は実施していますか？

ISO9185による溶融アルミニウム試験・溶融鉄試験を実施し、JIS T 8129に適合しています。

Q5 どの溶融金属に対応していますか？

アルミニウム、鉄、銅など幅広い溶融金属を扱う現場に対応します。

Q6 主にどのような現場で使用されていますか？

製鉄所、鋳造工場、アルミ精錬工場、非鉄金属工場などで採用されています。

ー このようなお悩みはありませんか？ ー

- 溶融アルミニウムの飛散がある
- 鋳造工程で火傷リスクがある
- 製鉄所向けの防護服を探している
- 高温の金属飛散に対応したい
- ISO・JIS基準に対応した製品を採用したい

その課題、F-DEX溶融金属防護服が解決をサポートします。

主な適合業界

- アルミ精錬
- 鋳造工場
- 非金属加工
- 製鉄所
- 金属製品製造

お問合せ・製品詳細はこちら

製品仕様、導入相談、資料請求など
お気軽にお問い合わせ下さい。

日本毛織株式会社 衣料繊維事業本部
03-5829-4343

関連キーワード 溶融金属防護服/メタルスプラッシュ防護服/アルミ溶融防護服/
製鉄所向け防護服/鋳造現場向け保護服/ISO9185/JIS T 8129適合